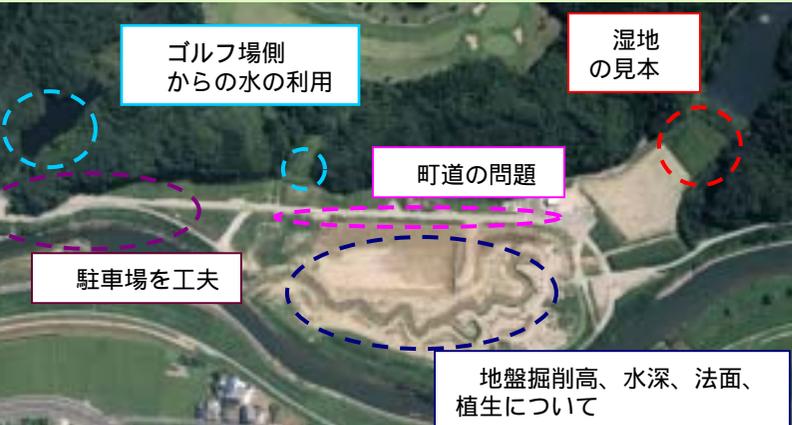


アザメ新聞は相知町佐里下地区で行われている自然再生事業の進展をお伝えする新聞です。この事業は住民参加の事業で、どなたでも検討会に参加できます。Vol.14では第21, 22回検討会の内容をお伝えしました。Vol.15では第23, 24回検討会、堤返し、九州川のワークショップの内容をお伝えします。

## 第23回検討会開催！ H15.10.6

現状の問題点の把握とこれからの課題を討論！



第23回の検討会は公募研究の大学の先生方、土木研究所の方々と共に現地調査をしつつ、現状の問題点や課題について話し合いました。まず、の湿地の中に入り、どのような状況になっているかを調べ、その後、事業地内のクリーク沿いを歩き、問題点の把握を行いました。



**アザメの瀬の地盤高、クリークの水深、法面の処理、河畔林やクリーク内、湿地部の植生をどのようにするか？**【現在の地盤高は高すぎるため乾燥している所が多く、セウカワグサやアメリカンダングサなど外来種の侵入が激しい】

地盤高は土が保水している高さまでは掘削し、クリーク法面崩壊による土砂堆積を見込んで設定すべき。

河畔林には柳や竹を移植するが、当分事業地内には木は植えない方向で見守る。また、植物の種を鳥の糞で運ばせることも考えられる。

ため池底泥を事業地内に撒き出すことで、地域に見合った植生を復元できる可能性有り。

クリーク内の水質が地盤の石灰処理のためアルカリ性の値が大きくなっている。動植物への影響が心配だから、掘削する際は石灰処理を行った土を外部に搬出すべきである。

### 町道を造ることによる問題点

山側と湿地側を分け隔てないような連続性の確保も考えた施工を行ってはどうだろう。

将来問題となるかもしれないロードキル（道路を通行することによる動物への悪影響）は動物優先時間帯を設けてみてはどうか。

### ゴルフ場側からの水の利用（導水）

アザメの瀬に本当に通水するのかを含めて、水質調査結果を踏まえ、判断する必要あり。



### アザメの瀬の手本となる良い湿地が形成！！

の地点にはホタルイ、イボクサ、ミゾカクシを始めとする湿性植物が生えており、シャジクモ、キクモ等も生えているため植生復元の目標として参考にする~~と良い~~のでは？また、コオイムシやタイコウチ、ミズカマキリなどの水生昆虫もたくさんいる。

### アザメの瀬の玄関である駐車場部をどのように工夫するか？

駐車場部に見学用のシードバンク施設を設けることで、アザメの瀬にどのような植物が生えているか見てもらえるようにしてみてもどうか？



# アザメの会、堤返しを実施！ H15.10.12

2年に1回程度行う堤返し・・・水位の低くなったため池の中を恐る恐る歩き、魚を次第に追い詰めていく子供達。魚影が見えると、目の色変えて、魚を捕まえに行く姿はとても新鮮でした！魚めがけて体ごと捕まえに行く人もいました。みんなで追いつめて捕る姿は、世代を越えた連携で、感動します。でもどっちかと言うと大人の方が真剣？

まさだすおもしろそうな土を採取しました



この辺りの5地点で底土を約30袋採取。



恐る恐る池の中へ・・・



鯉、デカッ！！

堤返しの後、セトアカワタ、チヨウヤ、アメリカシダ、ソウガ等の外来植物の除草をしました。言うことを聞いてくれない

今回採取した底泥は、アザメの瀬掘削工事後、クリーク内に蒔きだして、植生の回復に役立てたいと思います。蒔くことでひょっとして貴重な植物が生えてきたりして！？

子供達に、僕も正直参りましたが、外来植物の存在と名前を少しは分かってくれたと思うので、OKです！



除草作業状況

## 九州川のワークショップin宮崎 H15.10.25~26

経験がものをいった九州川のワーク・ショップ。余裕しゃくしゃくのアザメの会の方々はその経験を生かし、今回大会会長賞を頂きました。（拍手！！）



目は真剣でした・・・



説明にも力が入る！



表彰式の様子



なぜカップ賞？

惜しくもグランプリは逃しましたが、アザメの会の今後の活躍、期待します！みんなががんばっていきましょうね！ちなみに来年の開催は熊本県ですよ！！

**リバーパル五ヶ瀬川にも行って参りました！！ - H15.10.27 -**  
九州では自然再生事業をやっている河川が2つあります。その内の1つである延岡県北川水系友内川【ちなみにもう一つはアザメの瀬】。そこ友内川にある施設リバーパル五ヶ瀬川で“友内川を考える会(仮)”と交流し、意見交換し、互いの自然再生事業に対する思いを語りあいました。この交流の状況は地元延岡市の新聞紙上に掲載されるなど、東九州でもアザメは有名になりつつある？



友内川での交流会の様子

## 第24回検討会開催！ H15.11.11



島谷 幸宏(しまたにゆきひろ) 氏  
平成15年10月31日付け 国土交通省武雄河川事務所長  
平成15年11月1日付け 九州大学大学院工学研究院 教授

**武雄河川事務所長 人事が行わる！！ バトンタッチ！！**

今回、今まで議論された内容を踏まえ作成した全体整備計画図の新たな構想を説明しました。今後の整備計画を決める大事な内容であるため、じっくり時間をかけて議論することとなりました。また同じくみなさんの思いを計画に反映させることもできますので、様々なご意見をお願いします。



尾澤 卓思(おざわ たかし) 氏  
平成15年10月31日付け 独立行政法人土木研究所 水循環研究グループ河川生態チーム 上席研究員  
平成15年11月1日付け 国土交通省武雄河川事務所長



第24回検討会の状況

**編集後記** どうとうこの日が・・・アザメの瀬をここまで大きくし、また成長を見続け、自ら先頭に立って陣頭指揮にあっていた島谷所長が今回異動することとなりました。必ずこんな日は訪れるのですが、やっぱりさみしいものです。アザメの会の方も初めて耳にしたとき「本当？っ行かないでっ！」と思った方もいたと思います。けれど今後もアザメの会の『顧問』として検討会等、行事には出席するとのことですので、これまでも同様いろいろ教えてもらいましょう。